

中学部 2年生 音楽 年間計画

【1段階】

指導内容		単元名 (仮)
A 表現	<p>ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉑及び㉒について気付くこと。 ① 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㉑から㉒までの技能を身に付けること。 ② 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能</p>	<p>(指導要領 P372～)</p> <p>○生活年齢、発達の段階に応じた、日常の生活に関連した曲を取り扱う。 ○主となる歌唱教材については下記を含めた独唱、斉唱で歌う曲。 ※1年次に取り扱っていないもの &lt;共通教材&gt; ・うさぎ ・さくらさくら ・茶つみ ・とんび ・春の小川 ・まきばの朝 ・ふじ山 ・もみじ</p>
	<p>イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉑及び㉒について気付くこと。 ① 楽器の音色と全体の響きとの関わり</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉑から㉒までの技能を身に付けること。 ② 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能</p>	<p>(指導要領 P374～)</p> <p>○打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て、友達と一緒に演奏する。 ○(イ)① 例:自分だけの演奏ではなく、友達と合わせた時の響きといったことに気付く。</p>
	<p>ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <b>教科別の指導</b></p> <p>(ア) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉑及び㉒をできるようにすること。 ① 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉑及び㉒について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くこと。 ① リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴</p> <p>(ウ) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㉑及び㉒の技能を身に付けること。 ① 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能</p>	<p>(指導要領 P376～)</p> <p>○設定した条件に基づいて音を選択したり組み合わせたりして、簡単な音楽をつくる。 ○(ア)① 例:音楽の仕組みを手掛かりとして、いくつかの音に関連付けてまとまりのある音にしていくこと。 ○ウ① 例:「呼びかけとこたえ」を使い、ひとつの声部の呼びかけに、他の声部がこたえるように音楽をつくっていくこと。</p>
	<p>エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉑及び㉒の関わりについて気付くこと。 ① 曲名や歌詞と体の動きとの関わり</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉑から㉒までの技能を身に付けること。 ② 友達と動きを合わせて表現する技能</p>	<p>(指導要領 P378～)</p> <p>○リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取りながら、示範を見て体を動かすことや友達と動きを合わせて表現すること。 ○イ① 例:「ダンス」「ポルカ」のような曲名や「煙たなびく」のような歌詞から想起する動きを体の動きで表現できることに気付く。 ○(ウ)② 動きを合わせるために、感じたことを話し合ったり、動きのアイデアを出し合ったりしたことを動きに表す。</p>
	<p>ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <b>教科別の指導</b></p> <p>(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。</p>	<p>(指導要領 P380～)</p> <p>○曲想とリズムや速度、旋律の特徴等の関連に気付き、曲や演奏のよさを見いだ</p>
B 鑑賞		

	(イ) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。	せるようにする。
<b>【2段階】</b>		
	指導内容	単元名 (仮)
A 表現	<p><b>ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。  ㉗ 曲名や曲想と音楽の構造との関わり  ※㉘→3年次に学習</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。  ㉗ 歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌う技能  ㉘ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能  ※㉗→3年次に学習</p>	<p>(指導要領 P382～)</p> <p>○生活年齢、発達の段階に応じた、日常の生活に関連した曲を取り扱う。</p> <p>○(イ)㉗  歌詞を覚え、歌詞の表す情景や曲想についてイメージをもち、歌詞の内容を意識して歌ったり、リズムや音の高低を意識して発生したりする。</p> <p>○主となる歌唱教材については下記を含めた独唱、斉唱で歌う曲。</p> <p>&lt;共通教材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こいのぼり                      ・子もり歌</li> <li>・スキーの歌                      ・冬げしき</li> <li>・越天楽今様                      ・おぼろ月夜</li> <li>・ふるさと                          ・われは海の子</li> </ul> <p>○国歌は時期に応じて適切に指導</p> <p>・君が代</p>
	<p><b>イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。  ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり  ※㉘→3年次に学習</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。  ㉗ 簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して、演奏する技能  ㉘ 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能  ※㉗→3年次に学習</p>	<p>(指導要領 P384～)</p> <p>○打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、友達の楽器の音も聴きながら一緒に合わせて演奏すること。</p> <p>○簡単な楽譜などを使って、友達と一緒に音を合わせて演奏すること。</p> <p>○曲のリズムや速度、その曲のもつ雰囲気などを感じて、そのことを生かせるような演奏の仕方を考えること。</p>
	<p><b>ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b></p> <p>(ア) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉗及び㉘をできるようにすること。  ㉗ 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。  ㉘ 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。  ㉗ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴  ㉘ リズム・パターンや短い旋律のつながり方や重ね方の特徴</p> <p>(ウ) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。  ㉗ 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能  ㉘ 音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能</p>	<p>(指導要領 P386～)</p> <p>○設定した条件に基づいて即興的に音と選択したり組み合わせたりして、まとまりのある音楽をつくること。</p> <p>○(ア)㉗  例:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が見つけた音を使ってみんなで模倣したり、各自が工夫した音を使って友達と会話をしたりする活動</li> <li>・木、金属、皮など異なる材質や物を組み合わせさせて使ったり、同じ材質のものを使ったりして生じる音の響きを生かして表現する活動</li> <li>・線や図形、絵などを楽譜に見立てて声や楽器などの音で表す活動</li> </ul> <p>○ウ㉗  例:「ソラシの3つの音を使い、一人一人が4拍で即興的に表現し、順番につなぐ」といったこと。</p>

	<p><b>エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b></p> <p>(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉔及び㉕の関わりについて理解すること。 ㉔ 曲想と音楽の構造との関わり ※㉔→3年次に学習</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉖から㉗までの技能を身に付けること。 ㉖ 示範を見て表現したり、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現したりする技能 ※㉖㉗→3年次に学習</p>	<p>(指導要領 P388～)</p> <p>○リズムの特徴や曲想に合わせて表現するとともに、友達と協力して主体的な動きを引き出すこと。</p> <p>○(イ)㉔</p> <p>例: ゆったり→弾んだ感じの変化について、旋律と和声のような音楽の構造との関係といったことを理解すること。</p>
<p><b>B 鑑賞</b></p>	<p><b>ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b></p> <p>(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。</p> <p>(イ) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。</p>	<p>(指導要領 P390～)</p> <p>○曲想と音楽の構造等との関わりについて理解し、曲や演奏のよさを言葉などで表現する。</p> <p>○(イ)</p> <p>例: 曲の雰囲気や表情、味わい及びその変化と音楽の構造との関わり合いといったことを理解すること。</p>
<p><b>共通事項</b></p>	<p>(1) 1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>指導のねらいに応じて適切に選択・関連付けて必要に応じて指導する。</p> <p>&lt;音楽を特徴付けている要素&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色</li> <li>・リズム</li> <li>・速度</li> <li>・旋律</li> <li>・強弱</li> <li>・音の重なり</li> <li>・和音の響き</li> <li>・音階</li> <li>・調</li> <li>・拍</li> <li>・フレーズ</li> </ul> <p>&lt;音楽の仕組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復</li> <li>・呼びかけとこたえ</li> <li>・変化</li> <li>・音楽の縦と横の関係</li> </ul>